



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社JMS

コード番号 7702 URL <http://www.jms.cc/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥窪 宏章

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 遠藤 正樹

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

TEL 082-243-5844

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-----|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第3四半期 | 34,701 | 2.0 | 919 | △36.9 | 1,224 | △21.0 | 797 | △18.4 |
| 23年3月期第3四半期 | 34,015 | 1.9 | 1,456 | △21.1 | 1,550 | △17.0 | 977 | △34.2 |

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 90百万円 (△55.1%) 23年3月期第3四半期 202百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第3四半期 | 18.48 | — |
| 23年3月期第3四半期 | 22.65 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 24年3月期第3四半期 | 45,142 | 24,462 | 54.1 |
| 23年3月期 | 44,016 | 24,723 | 56.1 |

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 24,413百万円 23年3月期 24,677百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | — | 3.50 | — | 4.00 | 7.50 |
| 24年3月期 | — | 4.00 | — | — | — |
| 24年3月期(予想) | — | — | — | 4.00 | 8.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 46,500 | 2.0 | 1,000 | △41.4 | 1,100 | △40.0 | 500 | △61.3 | 11.59 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ【2. サマリー情報(その他)に関する事項】をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年3月期3Q | 43,844,932 株 | 23年3月期 | 43,844,932 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年3月期3Q | 686,531 株 | 23年3月期 | 684,995 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 24年3月期3Q | 43,159,338 株 | 23年3月期3Q | 43,165,917 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報（その他）に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| (4) 追加情報 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 9 |
| (4) セグメント情報等 | 9 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループを取り巻く環境は、医療技術の進捗と新興国の躍進などによる需要の拡大を受け、現地及び各国メーカーによる競争が激化しております。一方で国内においては、経済不安や少子高齢化といった社会の変化により、増え続ける医療費の抑制という政策の流れは避けられない状況となっており、医療施設をはじめ医療業界全般において経営の効率化が一層求められております。

このような環境において、当社グループでは「医療の安全」「医療の効率化」「再生医療」の3つをキーワードとして、製品の開発・生産・販売を進めております。なお、当社グループにおいては、販売品目を4つのシステム群に分類しており、輸液輸血群及び一般用品群では、医療の安全に貢献する輸液及び経腸栄養関連製品を、透析群では血液透析及び腹膜透析の両分野の製品を、循環器群では、膜型人工肺、人工心肺回路等の自社開発製品を中心に事業を展開し、収益の拡大に努めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期に比べ6億85百万円増加の347億1百万円（前年同四半期比2.0%増）となりました。

利益につきましては、増収となったものの、為替による売上高への影響に加え、労務費及び人件費の増加により、営業利益は9億19百万円（前年同四半期比36.9%減）となりました。また、持分法による投資利益を計上したことにより、経常利益は12億24百万円（前年同四半期比21.0%減）となり、税金費用等を差し引いた結果、四半期純利益は7億97百万円（前年同四半期比18.4%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 日本

血液透析装置の販売が回復したことに加え、ニードルレスアクセスポート「プラネクタ」を備えた、輸液セットや延長チューブの販売が引き続き堅調に推移したため、売上高は288億45百万円（前年同四半期比1.9%増）となりました。また、セグメント利益については、人事制度の改定に伴う労務費及び人件費の増加等により4億18百万円（前年同四半期比49.0%減）となりました。

② 東南アジア

成分献血用回路の販売が低調に推移したものの、北米向けのAVF針（血液透析用針）や日本向けの人工腎臓用血液回路の販売が好調に推移したため、売上高は88億75百万円（前年同四半期比2.6%増）となりました。また、セグメント利益については、為替による売上高への影響等により1億14百万円（前年同四半期比56.1%減）となりました。

③ 中国

日本向けの輸液セットの販売に加え、中国国内において人工腎臓（ダイアライザー）や人工腎臓用血液回路の販売が好調に推移したため、売上高は21億67百万円（前年同四半期比17.5%増）となりました。また、セグメント利益については、労務費の上昇により1億41百万円（前年同四半期比20.9%減）となりました。

④ ドイツ

東ヨーロッパ向けの血液バッグの販売が減少したものの、ドイツ国内においてAVF針の販売が引き続き伸ばしたため、売上高は21億70百万円（前年同四半期比2.7%増）となりました。また、セグメント利益については、ユーロ安に伴う仕入価格の増加により1億81百万円（前年同四半期比4.0%減）となりました。

⑤ アメリカ

大口顧客の営業拡大に伴い北米向けのAVF針の販売が引き続き好調に推移したため、売上高は16億7百万円（前年同四半期比2.1%増）となりました。また、セグメント利益については、増収に伴い1億82百万円（前年同四半期比60.6%増）となりました。

⑥ その他

売上高は8億24百万円（前年同四半期比14.2%増）、セグメント利益は76百万円（前年同四半期比7.6%減）となりました。

なお、第2四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。詳細は「3. 四半期連結財務諸表 (4)セグメント情報等」の「II 当第3四半期連結累計期間 3 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産の状況の分析

当第3四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度に比べ11億25百万円増加の451億42百万円となりました。資産、負債及び純資産の内容は次のとおりであります。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度に比べ10億13百万円増加の286億88百万円となりました。この主な要因は、売上債権の増加であります。

固定資産は、前連結会計年度に比べ1億12百万円増加の164億54百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得によるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度に比べ8億57百万円増加の163億99百万円となりました。この主な要因は、短期借入金の増加であります。

固定負債は、前連結会計年度に比べ5億29百万円増加の42億79百万円となりました。この主な要因は、長期借入金の増加であります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度に比べ2億60百万円減少の244億62百万円となりました。この主な要因は、為替換算調整勘定の変動であります。

なお、自己資本比率は2.0ポイント低下の54.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想数値は、当第3四半期連結累計期間までの業績が貢献するものの、原材料価格の高騰や為替の変動に加えて、4月に予定される国内における償還価格改定による影響等、経済情勢や市場環境が非常に厳しい状況を踏まえ、平成23年11月8日公表時から変更しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(在外子会社等の収益及び費用の換算基準)

在外子会社等の収益及び費用については、従来、決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、前連結会計年度末より、期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しております。

この変更は、会計年度末近くに急激な為替変動があった場合に期間損益に与える異常な影響を排除し、より適正な損益の認識を図るために行ったものであります。

また、当該変更は、為替相場が急速に変動していることを契機に、会計システム等の実務上の対応を検討した結果、前連結会計年度末において対応可能となったためであり、前第3四半期連結累計期間は従来の方法によっております。

この結果、前第3四半期連結累計期間に変更後の換算方法を適用した場合、当該累計期間の売上高は525百万円、営業利益は30百万円、経常利益は33百万円、税金等調整前四半期純利益は32百万円それぞれ増加することとなります。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,987 | 4,838 |
| 受取手形及び売掛金 | 13,278 | 14,235 |
| 商品及び製品 | 4,484 | 4,816 |
| 仕掛品 | 1,477 | 1,584 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,697 | 2,573 |
| その他 | 761 | 649 |
| 貸倒引当金 | △12 | △9 |
| 流動資産合計 | 27,674 | 28,688 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 12,780 | 12,831 |
| 無形固定資産 | 627 | 669 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資その他の資産 | 2,939 | 2,959 |
| 貸倒引当金 | △6 | △6 |
| 投資その他の資産合計 | 2,933 | 2,952 |
| 固定資産合計 | 16,341 | 16,454 |
| 資産合計 | 44,016 | 45,142 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 6,919 | 7,383 |
| 短期借入金 | 3,354 | 3,921 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,405 | 1,400 |
| 未払法人税等 | 309 | 87 |
| 製品保証引当金 | 7 | 6 |
| 賞与引当金 | 760 | 419 |
| 資産除去債務 | — | 21 |
| その他 | 2,786 | 3,159 |
| 流動負債合計 | 15,542 | 16,399 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,485 | 3,057 |
| 退職給付引当金 | 211 | 209 |
| 役員退職慰労引当金 | 28 | 27 |
| 資産除去債務 | 184 | 165 |
| その他 | 840 | 820 |
| 固定負債合計 | 3,750 | 4,279 |
| 負債合計 | 19,292 | 20,679 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 6,522 | 6,522 |
| 資本剰余金 | 9,473 | 9,473 |
| 利益剰余金 | 11,158 | 11,610 |
| 自己株式 | △269 | △269 |
| 株主資本合計 | 26,884 | 27,336 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 9 | △69 |
| 為替換算調整勘定 | △2,217 | △2,853 |
| その他の包括利益累計額合計 | △2,207 | △2,923 |
| 少数株主持分 | 46 | 49 |
| 純資産合計 | 24,723 | 24,462 |
| 負債純資産合計 | 44,016 | 45,142 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 34,015 | 34,701 |
| 売上原価 | 24,047 | 25,105 |
| 売上総利益 | 9,967 | 9,595 |
| 販売費及び一般管理費 | 8,511 | 8,676 |
| 営業利益 | 1,456 | 919 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 7 | 27 |
| 受取配当金 | 20 | 22 |
| 持分法による投資利益 | 177 | 174 |
| 為替差益 | — | 94 |
| その他 | 78 | 85 |
| 営業外収益合計 | 284 | 403 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 78 | 66 |
| その他 | 111 | 32 |
| 営業外費用合計 | 190 | 98 |
| 経常利益 | 1,550 | 1,224 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 2 | 4 |
| 投資有価証券売却益 | 4 | — |
| 貸倒引当金戻入額 | 0 | — |
| 特別利益合計 | 6 | 4 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 24 | 1 |
| 固定資産廃棄損 | 34 | 59 |
| 減損損失 | — | 14 |
| 投資有価証券売却損 | 0 | — |
| 投資有価証券評価損 | 63 | 10 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 146 | — |
| 特別損失合計 | 269 | 85 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,288 | 1,143 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 294 | 280 |
| 法人税等還付税額 | △43 | — |
| 法人税等調整額 | 51 | 56 |
| 法人税等合計 | 302 | 336 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 985 | 807 |
| 少数株主利益 | 7 | 9 |
| 四半期純利益 | 977 | 797 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 985 | 807 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △76 | △79 |
| 為替換算調整勘定 | △706 | △636 |
| その他の包括利益合計 | △782 | △716 |
| 四半期包括利益 | 202 | 90 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 199 | 87 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 2 | 3 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|---------|-----------|-------|-------|-------|--------|------------|--------|
| | 日本 | 東南 アジア | 中国 | ドイツ | アメリカ | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 25,050 | 3,995 | 559 | 2,112 | 1,575 | 33,293 | 722 | 34,015 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 3,269 | 4,657 | 1,284 | 0 | — | 9,212 | — | 9,212 |
| 計 | 28,320 | 8,653 | 1,844 | 2,113 | 1,575 | 42,506 | 722 | 43,228 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 821 | 260 | 178 | 188 | 113 | 1,563 | 82 | 1,645 |

(注) 「その他」の区分は、国内子会社及び韓国の現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

| 利益 | 金額 |
|--------------------|-------|
| 報告セグメント計 | 1,563 |
| 「その他」の区分の利益又は損失(△) | 82 |
| セグメント間取引消去 | △317 |
| 持分法投資利益又は損失(△) | 177 |
| その他の調整額 | 44 |
| 四半期連結損益計算書の経常利益 | 1,550 |

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|---------|-----------|-------|-------|-------|--------|------------|--------|
| | 日本 | 東南 アジア | 中国 | ドイツ | アメリカ | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 25,523 | 3,910 | 665 | 2,168 | 1,607 | 33,876 | 824 | 34,701 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 3,321 | 4,964 | 1,501 | 1 | — | 9,789 | — | 9,789 |
| 計 | 28,845 | 8,875 | 2,167 | 2,170 | 1,607 | 43,666 | 824 | 44,490 |
| セグメント利益 又は損失 (△) | 418 | 114 | 141 | 181 | 182 | 1,038 | 76 | 1,114 |

(注) 「その他」の区分は、国内子会社及び韓国の現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

| 利益 | 金額 |
|---------------------|-------|
| 報告セグメント計 | 1,038 |
| 「その他」の区分の利益又は損失 (△) | 76 |
| セグメント間取引消去 | △69 |
| 持分法投資利益又は損失 (△) | 174 |
| その他の調整額 | 5 |
| 四半期連結損益計算書の経常利益 | 1,224 |

3 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメント区分の変更について)

第1四半期連結累計期間まで、セグメント情報におけるセグメント区分は「日本」、「シンガポール」、「中国」、「ドイツ」及び「その他」に区分しておりましたが、第2四半期連結累計期間から「シンガポール」をインドネシアの現地法人（PT. ジェイ・エム・エス・バタム）を含めた「東南アジア」に変更して表示しております。

これは、東南アジアに所在するジェイ・エム・エス・シンガポールPTE. LTD. とPT. ジェイ・エム・エス・バタムについて、第2四半期連結会計期間から当該地域での生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行っていることを踏まえて業績管理を行うこととしたためであります。

また、第1四半期連結累計期間まで「その他」に含めておりました「アメリカ」は、金額的重要性が増したため、第2四半期連結累計期間から報告セグメントとして表示しております。

なお、この変更後の区分方法により、前第3四半期連結累計期間における報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報を記載しております。

(在外子会社等の収益及び費用の換算基準の変更について)

在外子会社等の収益及び費用については、従来、決算日の直物為替相場により円貨に換算していましたが、前連結会計年度末より、期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しております。

この変更は、会計年度末近くに急激な為替変動があった場合に期間損益に与える異常な影響を排除し、より適正な損益の認識を図るために行ったものであります。

また、当該変更は、為替相場が急速に変動していることを契機に、会計システム等の実務上の対応を検討した結果、前連結会計年度末において対応可能となったためであり、前第3四半期連結累計期間は従来の方法によっております。

この結果、前第3四半期連結累計期間に変更後の換算方法を適用した場合、当該累計期間の売上高合計は「東南アジア」8,879百万円、「中国」1,930百万円、「ドイツ」2,178百万円、「アメリカ」1,678百万円、「その他」755百万円となり、セグメント利益は「東南アジア」269百万円、「中国」187百万円、「ドイツ」194百万円、「アメリカ」121百万円、「その他」84百万円となります。

また、報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容につきましては、「報告セグメント計」1,593百万円、「「その他の区分」の利益又は損失(△)」84百万円、「四半期連結損益計算書の経常利益」1,583百万円となります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。